

# 支笏湖日記

認定を機に、新たな情報を  
いただくことができまし  
た。それは同形式の橋は当  
時140基も日本に輸入さ  
れていたこと、そのうち2  
00基で現存するのは、岐

阜島の旧揖斐川橋梁(きよ  
うりよう)と同じく岐阜県  
の木曾川橋梁、神奈川県箱  
根登山鉄道の早川橋梁のみ  
で、山線鉄橋を含めこれら  
四つの橋はいずれも英国

「Patent Shaft  
& Axletree  
」社製で、いわば姉妹橋で  
あることが分かりました。  
そしてさらに驚いたのは、  
台湾の雲林県に「虎尾

鉄橋」という、山線鉄橋と  
同じ橋が現存していること  
が分かったのです。製糖工  
場へのサトウキビや貨客輸  
送用の鉄道橋として虎尾溪  
という川に架けられ、当初  
は木橋でしたが1931

(昭和6)年に鉄橋に架け  
替え、今も大切に保存され  
産業遺産として観光客を集  
めているそうです。

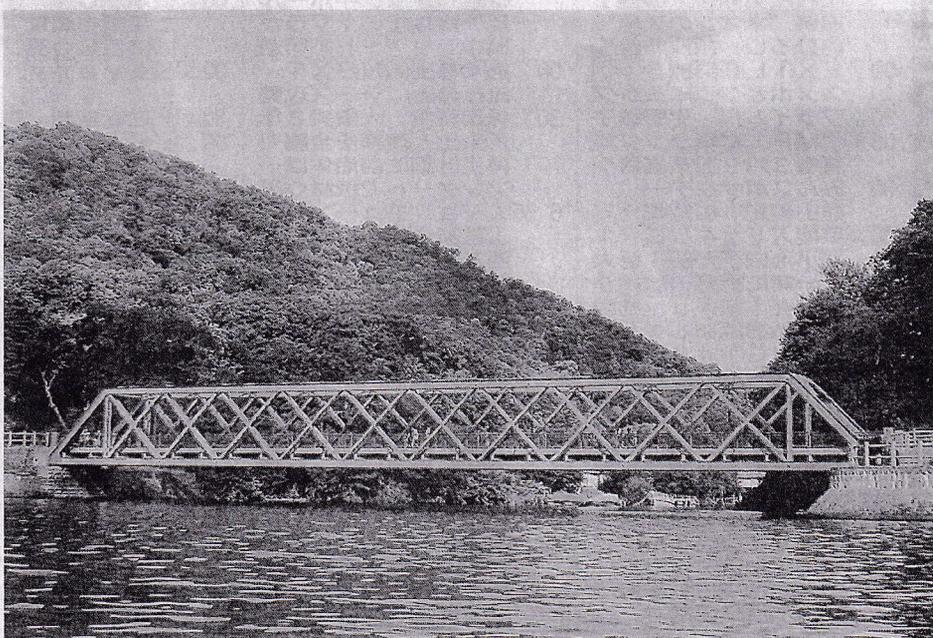
このたびの選奨土木遺産  
認定を受け、地元としても  
これを弾みとして、山線の  
歴史とともに広く紹介して  
いきたいと考えておりま  
す。支笏湖に暮らす人々に  
とって山線鉄橋は、ここで  
暮らす背景を伝える大切な  
シンボルであり、心のより  
どころと言っても過言では  
ありません。

4月14日には、観光シー  
ズンの幕開けを告げる湖水  
開きが行われ、セレモニー  
の中で選奨土木遺産認定の  
銘板をご披露することとし  
ています。また、支笏湖ピ  
ジターセンターでは、この  
日から選奨土木遺産カード  
の配付を開始します。

(自然公園財団支笏湖支部  
所長 木下宏)

支笏湖畔に山線鉄橋と呼  
ばれる橋が架かっているこ  
とは、以前この欄で紹介し  
ました。その中で、この橋が  
山線の愛称で親しまれた王  
子軽便鉄道に使われていた  
こと、道内に現存する最古  
の鉄橋であることなどを紹  
介しました。そして昨年11  
月には土木学会から、土木  
遺産の顕彰を通じて歴史的  
土木構造物の保存に資する  
ことを目的とした「選奨土  
木遺産」に認定されました。  
この橋が、英国人技師チ  
ヤールズ・ポータルが設計  
した英国製200基ピン構  
造のダブルワーレントラス  
橋であることは承知してい  
たのですが、選奨土木遺産

## 山線鉄橋は生活のシンボル



昨年11月に土木遺産に認定された山線鉄橋

「選奨土木遺産」に認定